

## USER GUIDE

### 電源について

標準的な 9V アルカリ電池 006P (別売) を使用します。

注: In にプラグが刺さっていると電源が作動します。電池の消耗を防ぐため使わないときはプラグを抜いてください。

下記スペックのアダプター以外を使用すると破損したり、保証が受けられなくなる場合があります。

-DC9V>100mA 2.1mm プラグセンターマイナス

## 1 はじめに

この度は TECH 21 製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の性能を最大限に引き出すためにご使用前にかならず内容をよくお読みください。

SansAmp は、ディストーションペダルやファズボックスではありません。様々な真空管アンプのユニークで充実したサウンドをどこにでも持ち運べる便利でコンパクトなユニットで再現することを実現した唯一無二のギアです。

SansAmp は、音質を犠牲にすることなく、真空管アンプの既存の欠点をすべて解消します。真空管アンプのウォームでリッチなトーンを再現するだけでなく、よりクリーンで柔軟性があり、ノイズの少ないクリーンなサウンドに改善されています。また、ギター本来のサウンドを維持しますので、あなたの個性やスタイルを損なうことはありません。さらに、レコーディング・コンソールやステージ・アンプ、ステレオ、あるいはヘッドフォンに直接接続することができる高い拡張性も持ち合わせています。

## 2 ヒストリー

私は幼い頃から、ハイテクの皮肉さに恐怖すら覚えていました。なぜギターやベースの音を出すために、機械や電子機器を延々と組み立てる必要があるのか。レコーディングやライブに適したギターやベースの音を出すために、なぜ機械や電子機器を無限に組み合わせなければならないのか。私にとっては、まるでターボジェットエンジンでロウソクを吹き消すような作業に見えていました。数ミリボルトの信号を得るために、ホットロッドアンプ、スピーカーキャビネット、マイク、イコライザーなどを準備し、組み替える ..... アンプやスピーカーをマイキングする標準的な方法は、時間がかかり、イライラし、効率が悪く、コストもかかります。

真空管アンプの性質上、多くのセットアップ工程が必要なため、毎回安定したサウンドを得ることは事実上不可能です。なんとかアンプの音を電子レベルでコンパクトにできないものか。

その思いから、ギタリストとしての自分の考えと、アンプの改造やカスタマイズの豊富な経験をもとに、答えとなるギアの開発を決意しました。10 年間の研究開発期間に、Marshall®, Fender®, Mesa Boogie® などのアンプと、スピーカーやマイクを組み合わせたとときの音の特徴を、デザインの段階から探ってきました。フランス語で「ない (Without)」を意味する「Sans」を冠した SansAmp は、非常に低ノイズで、コンパクトで持ち運びやすく、様々な用途に応じて幅広い音を素早く安定して再生できるように設計されています。

SansAmp を使いこなすには、コントロールの性質と相互作用を理解することが重要です。SansAmp は数種類のプリセットで、すべてのギター、ピックアップの組み合わせ、プレーヤーを同じ音にするものではありません。Moog® シンセサイザーのようにプログラム可能なので、真空管アンプのサウンドスペクトラムの中で細かい重要なニュアンスを追求し、自分だけのサウンドを実現することができます。

スイッチとノブは、相互作用するように設計されています。幅広いサウンドを作るために影響を与えています。真空管アンプの常識にとらわれず、できるだけ便利で簡単に使えるように設計しました。SansAmp は、真空管アンプの自然なサウンドをエフェクトなしで再現するために設計されました。SansAmp のサウンドを補うために、ディストーションやコンプレッションなどの信号処理をクリエイティブに加えることもお勧めします。

歴史的に見ても、真空管アンプの音に匹敵するものは現在までありませんでした。SansAmp は、あなたが自由にサウンドを探求し、定義し、洗練させることができるツールとして独立しています。SansAmp があなたの自己表現の進化の過程を補完し、貢献することを期待して、私は大きな誇りを持ってあなたにお届けしています。

## 3 スイッチコントロール

### INPUT SWITCH:

**LEAD:** 中音域と高音域が強調された Marshall® スタイルのプリアンプサウンド。

**NORMAL:** 基本的にフラットな EQ を備えた、Mesa Boogie® スタイルのプリアンプサウンド。

**BASS:** フェンダー® スタイルのプリアンプサウンド（ベースだけでなく、リズムにも優れています）。

### CHARACTER CONTROLS:

キャラクターコントロールは、ライブ中に調節することを想定していません。好みの音色を自由に表現できるように、汎用性を重視して設計されています。狙いのセッティングが完成したら、設定は変更しないようにしてください。また、ライブで使用する場合は、アンプは歪みのない状態で設定する必要があります。

#### #1. Mid-Boost I

#### #2. Mid-Boost II

中音域など、さまざまなプリアンプの EQ カーブを実現。

#1 と #2 が OFF . . . . . 超ブライツサウンド

#1 のみ ON . . . . . 中間のサウンド

#2 のみ ON . . . . . 中間のサウンド

#1 と #2 が ON . . . . . 超ファットサウンド

#### #3. Low Drive

低域で異なるプリアンプの EQ カーブを実現します。オンにすると、フラットな周波数特性になります。OFF にすると、ハイパスフィルターとして機能します。充実したボディにしたい場合は、設定を ON のままにします。

#### #4. Clean Amp

クリーンオーバードライブ。分厚いリズムサウンドの実現に最適です。

#### #5. Bright Switch

Amp Drive が低設定の場合に明るさを追加します。  
Amp Drive をフル時には効果がないので、Amp Drive を半分にしたときに最適なサウンドが得られるように設計されています。

#### #6. Vintage Tubes

最終的なサウンドがよりソフトでまろやかな音になります。

#### #7. Speaker Edge

最終的なサウンドに存在感を与えます。

#### #8. Close Miking

マイクをスピーカーキャビネットに密着させたときの音を再現し、ボトムエンドをわずかにブーストします。

## 4 ノブコントロール

### PRESENCE DRIVE

中高音の輪郭を調節します。最大のクランチを得るには、フルに設定します。

### AMP DRIVE

パワーアンプの輪郭を形成します。最も重い歪みを得るには、フルに設定します。

### OUTPUT

全体の音量を調節します。バイパス信号とのバランスをとるとより良い音が得られます。ヘッドフォンの場合は、プラグを半分まで挿入し、出力を上げます。（※プラグを完全に挿し込むと左側のみの出力となります。）

### HIGH

最終の EQ バランスをとります。ライブでは、ギターアンプのハイエンドを補うために、半分以下の設定をお勧めします。スタジオでダイレクトに録音する場合は、フルに設定することをお勧めします。

## 5 エフェクターとの組み合わせ

SansAmp とエフェクターを併用する場合、EQ を SansAmp の前または後に配置することで、異なるサウンドが得られます。一般的には、以下のようにエフェクターを配置します。

#### 本機の前

コンプレッサー

ディストーション

エンベロープフィルター

ワウ

#### 本機の後

コーラス

ディレイ

ハーモナイザー

リバーブ

※SansAmp には、バイパス・モードでもギター信号を改善する F.E.T. バッファァーが搭載されており、サウンド・シェイピング機能を使用しない場合でも、楽器がより良いサウンドになります。

## 6 他の機器との接続

SansAmp はギターだけのものではありません。  
ベース、キーボード、ドラム、サックス、ハーモニカ、ボーカルなどの他の楽器や、既存のトラックのミックスダウンなど、様々な用途で試してみてください。

## 7 アンプとのライブでの使用

SansAmp をギターアンプを通してライブで使用する場合、アンプのサスティーンとオーバードライブを補うために、Amp Drive を低めに設定することをお勧めします。低い設定にすることで、ハウリングを避けることもできます。出音の明るさを均一にするために、High を半分以下に設定することもお勧めします。

ライブで使用する際の利点としては .....

- SansAmp とアンプ入力の間にはエフェクトを入れることができ、アンプのエフェクトループが不要になります。
- SansAmp とアンプの間にはエフェクトを入れることができ、ホットワイヤードマーシャルのようなビンテージサウンドが得られます。
- SansAmp の Bypass スイッチを使って、クリーンと歪みを切り替えが可能になります。

### アンプごとのセッティング例

Marshall® 800 Series	Fender® Twin Reverb	Roland® JC120
Presence : 5	Bright:OFF	Bright:OFF
Bass : 5	Volume:1-10*	Volume:1-10*
Middle : 5	Treble :5	Treble:5
Treble : 5	Middle :5	Middle:5
Master : 1-10*	Bass:5	Bass:5
Pre-Amp : 10	Master:10	Distortion:0
Low sensitivity input へ入力	Low sensitivity input へ入力	Low sensitivity input へ入力

\* 適正音量に調節

## 8 FAQ

ノイズが多いのですが？

ギターを動かして、照明などによるピックアップの干渉をチェックしてください。シングルコイル・ピックアップはハムノイズが発生しやすく、EMG スタイルのアクティブピックアップはハムバックカーよりもヒスノイズが発生しやすいです。ミキシングボードでは、マイク入力ではなく、ライン入力があればそれを試してみてください。

自分のアンプに内蔵されているディストーションを使うべきでしょうか？

おそらく答えは「NO」です。シグナルチェーンの最後の歪みがサウンドを決定するので、追加の歪みは SansAmp の前に置いて、SansAmp へ過入力しないように注意してください。(ユニットに害はありませんが、サウンドに悪影響を及ぼします)。


SansAmp のキャラクタースイッチはなぜこんなに小さいのでしょうか？


主な理由は、本体をコンパクトにするためです。スイッチを大きくすると、サイズが大きくなるだけでなく、コストや信頼性にも影響します。そして、ライブ中に設定を変更するには設計されていません。ヒント：ギターのピックやペンのキャップの端を使うと、動かしやすいです。


ヘッドフォン出力が小さいのですが？


SansAmp は、コンパクトだけでなく、多目的に使えるように設計されています。出力もさまざまな用途に対応させる必要がある為ヘッドフォン出力は小さめの音量になります。ヘッドフォンの場合は、ステレオヘッドフォン端子を SansAmp の出力に半分程度差し込むと、左右の音が出ます。その後、好みの音量まで出力を上げます。

**VINTAGE MARSHALL®  
(AC/DC STYLE)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 

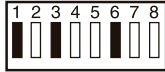
1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**VINTAGE HOT-WIRED MARSHALL®  
(VAN HALEN STYLE)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**WARM FENDER®**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**FENDER®  
(B.B. KING STYLE)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**MESA BOOGIE®  
(SANTANA STYLE)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**KILLER METAL  
(BOOGIE®-STYLE)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**FENDER®  
(RHYTHM or BASS GUITAR)**


Presence Drive 




Character 

Output 


Amplifier Drive 


1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking


High 


Lead   
Normal   
Bass 

**'60s TUBE AMP  
(SIMILAR TO VOX AC30®)**


Presence Drive 




Character 

Output 

Amplifier Drive 

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

High 

Lead   
Normal   
Bass 

### VOX AC30® (LEAD)

Presence Drive

Character

Output

Presence Drive

Amplifier Drive

High

Amplifier Drive

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### HIWATT®

Output

High

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### STEVIE RAY I

Presence Drive

Character

Output

Presence Drive

Amplifier Drive

High

Amplifier Drive

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### STEVIE RAY II

Output

High

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### CLAPTON BLUESBREAKERS/CREAM

Presence Drive

Character

Output

Presence Drive

Amplifier Drive

High

Amplifier Drive

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### KURT COBAIN

Output

High

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### BRUCE KULICK

Presence Drive

Character

Output

Presence Drive

Amplifier Drive

High

Amplifier Drive

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking

### MIKE KENEALLY

Output

High

Lead  Normal Bass

1. Mid-Boost I
2. Mid-Boost II
3. Low Drive
4. Clean Amp
5. Bright Switch
6. Vintage Tubes
7. Speaker Edge
8. Close Miking